

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

★最初のISS構成要素打上げから2335日経過しました

★第10次長期滞在クルーのISS滞在は179日経過しました

★ISS動向

第10次長期滞在クルーのリロイ・チャオとサリザン・シャリポフ両宇宙飛行士は、帰還に向けての片付け作業を行い、次のクルーのための準備を行っています。

また、メンテナンス作業のひとつとしてISSにドッキングしているプログレス補給船(17P)の酸素タンクからISS内に酸素を放出しました。

なお、3月28日にISSの姿勢を制御するコントロール・モーメント・ジャイロ(CMG)の1基が短時間に異常振動を起こした件について、地上の管制官はISSの姿勢制御系をモニタしています。

第11次長期滞在クルーであるロシアのセルゲイ・クリカレフと米国のジョン・フィリップス両宇宙飛行士は、ISSでの6ヶ月間の滞在を開始するために、4月15日午前9時46分にソユーズ宇宙船により打ち上げられる予定です。欧州宇宙機関(ESA)のロベルト・ビットーリ宇宙飛行士は、第11次長期滞在クルーと一緒にISSへ行き、8日間滞在した後、第10次長期滞在クルーと共に4月25日に帰還します。

打上げの様子は、4月15日午前9時からNASA TVで放映されます。

NASA TV <http://iss.sfo.jaxa.jp/gallery/video/live/live.html>



準備中のソユーズ宇宙船(10S)



右からジョン・フィリップ、セルゲイ・クリカレフ、ロベルト・ビットーリ宇宙飛行士

“スペースシャトル飛行再開に向けて”

NASAケネディ宇宙センター(KSC)では、スペースシャトル飛行再開に向けた作業が続けられています。NASAは、コロンビア号事故後の2回の飛行(STS-114、STS-121)をスペースシャトル飛行再開ミッションと位置付け、打上げ時の撮影や軌道上での修復技術実証試験などを行う予定です。

ディスカバリー号(STS-114)は、4月7日午前3時4分にスペースシャトル組立棟(VAB)から移動を開始して、同日午後1時30分に39B射点へ到着しました。

オービタ整備施設(OPF)では、7月打上げ予定のアトランティス号(STS-121)に、軌道上でRCCパネルを検査するためのセンサ付き検査用延長ブーム(OBSS)が取り付けられました。



アトランティス号へのOBSSの取付

STS-114,121の2回の飛行を行った後、3回目のエンデバー号(STS-115)から本格的にISSの組立てが再開されます。エンデバー号は、2003年12月からオーバーホールを実施中です。



オーバーホール中のエンデバー号



ISSから撮影した移動中のディスカバリー号



射点に移動したディスカバリー号

“トピック”

★今年の宇宙はエキサイティング！～筑波宇宙センター特別公開開催案内(その3)

来週土曜日(23日)に迫った筑波宇宙センター特別公開の目玉として、「山崎宇宙飛行士のミニミニ宇宙教室」、「宇宙のふしぎ。宇宙実験ショー」があります。

ミニミニ宇宙教室は、NASAジョンソン宇宙センター(JSC)のある米国ヒューストンと映像・音声回線をつなぎ、ヒューストンにいる山崎宇宙飛行士が現在行っている訓練の様子などを紹介し、子どもたちの質問に答えます。

宇宙実験ショーは、ISSが飛行している宇宙環境について、クイズと実験を交えて楽しく解説するコーナーです。

いずれも1日2回ずつ、宇宙ステーション実験棟2階大会議室第1で行います。

その他のイベントなどについては下記ページをご覧ください。

http://visit.jaxa.jp/tsukuba/index_j.html

http://visit.jaxa.jp/tsukuba/img/topics/topics_20050314.pdf



宇宙教室イメージ



宇宙実験ショーイメージ

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。